



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月1日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 平野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 西村 広司

TEL 0562-33-2102

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	67,438	14.8	973	8.2	1,029	17.1	556	26.0
23年3月期第2四半期	58,736	△4.7	899	△63.1	879	△65.5	441	△71.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 305百万円 (520.9%) 23年3月期第2四半期 49百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.40	—
23年3月期第2四半期	16.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	61,954		31,749			51.2
23年3月期	60,409		31,814			52.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 31,749百万円 23年3月期 31,814百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年3月期	—	8.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	10.8	2,300	8.4	2,200	5.5	1,150	40.3	43.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	26,535,508 株	23年3月期	26,535,508 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	496,149 株	23年3月期	501,627 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	26,017,686 株	23年3月期2Q	26,484,447 株

※自己株式については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(24年3月期2Q 444,400株、23年3月期 450,000株)を含めて記載しております。

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に持ち直しの動きがみられます。しかしながら、欧州の財政不安による世界的な景気の停滞、円高の長期化、東京電力福島第一原発の事故による放射能汚染とこれに関連した風評被害の影響など懸念すべき問題も多く、企業を取り巻く環境は依然として不透明な状況となっております。

飼料業界におきましては、主原料のとうもろこし価格が、エタノール需要の増加見込みや低水準の在庫見直しにより需給のひっ迫懸念が強まり、6月10日に史上最高値を更新するなど、高値で推移しました。9月以降は世界的な景気後退懸念や全米の在庫報告が市場予想を上回ったことなどから値を下げておりますが、依然として高水準にあり、前年同期と比較して原材料価格は上昇しております。飼料メーカー各社は、4月及び7月に配合飼料価格の値上げをしたものの原材料価格も上昇しており、まだ東日本大震災の影響が残るなか、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、新たな市場開拓はもとより顧客の要望に合致した新製品の開発、積極的な販売活動の推進による売上拡大を図る一方、生産性向上、経費の削減などにより業績の向上に努めてまいりました。また、原材料の高騰に対応するため、独自の加工技術により、とうもろこしの使用比率を引き下げて糟糠類を多用した飼料の開発に成功し、拡販に貢献しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高674億38百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益9億73百万円（前年同期比8.2%増）、経常利益10億29百万円（前年同期比17.1%増）、四半期純利益5億56百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

主力の畜水産飼料が平均販売価格、販売量ともに前年同期を上回ったことにより、売上高は、14.8%の増収となりました。経常利益は、減価償却費の増加やのれん償却額の発生などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、畜水産飼料の販売量増加で吸収し、17.1%の増益となりました。四半期純利益は、前年同期に特別損失に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額がなくなったことなどにより、26.0%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (飼料)

東日本大震災の影響が残るなか、新規顧客獲得の増加により、畜水産飼料の販売量は前年同期比3.6%増と好調でありました。また、原材料価格の上昇を受けて飼料販売価格の値上げを行ったため、売上高は、前年同期比17.1%増の575億50百万円となりました。セグメント利益は、減価償却費が増加したものの、増収効果により前年同期比59.9%増の9億99百万円となりました。

#### (コンシューマー・プロダクツ)

自社開発の畜産物の取扱量増加及びペットフードの販売量増加により、売上高は、前年同期比2.4%増の70億38百万円となりました。売上高は増加したものの、原材料価格の高騰を販売価格に転嫁できなかったため、セグメント利益は、前年同期比50.4%減の94百万円となりました。

#### (不動産賃貸)

売上高は、横浜流通倉庫の賃貸契約終了により一時的に空室となったことから、前年同期比42.2%減の1億22百万円、セグメント利益は、前年同期比71.1%減の43百万円となりました。

#### (その他)

売上高は、前年同期比8.5%増の27億26百万円、セグメント利益は、前年同期比54.9%減の81百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15億45百万円増加の619億54百万円となりました。流動資産は366億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億40百万円増加しました。これは主に売上高増加に伴い受取手形及び売掛金が19億44百万円増加、原材料及び貯蔵品が7億16百万円増加したことによるものであります。固定資産は252億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億95百万円減少しました。これは主に有形固定資産が2億91百万円減少、投資有価証券が3億62百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ16億10百万円増加の302億5百万円となりました。流動負債は252億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億28百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が9億53百万円減少したものの、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が26億4百万円増加したためであります。固定負債は49億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少しました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少の317億49百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億82百万円増加したものの、繰延ヘッジ損益が2億22百万円減少したことによるものであります。総資産が増加し、純資産が減少した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.5ポイント減少の51.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、8億円となりました。当第2四半期連結累計期間における資金の減少は5億79百万円、新規連結に伴う資金の増加は1億1百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は24億1百万円（前年同期5億86百万円の資金獲得）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益9億66百万円及び減価償却費12億29百万円の計上であります。一方、主な資金使用の要因は売上債権の増加19億80百万円、たな卸資産の増加6億95百万円、仕入債務の減少9億58百万円、法人税等の支払額3億80百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6億90百万円（前年同期比10億70百万円減少）となりました。これは主に貸付金の回収による収入1億19百万円があったものの、固定資産の取得による支出7億50百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は25億11百万円（前年同期比11億11百万円増加）となりました。これは主に借入金の増加が純額で27億21百万円、配当金の支払額2億8百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月6日の決算短信で公表いたしました平成24年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,288	810
受取手形及び売掛金	24,107	26,052
商品及び製品	1,811	1,900
仕掛品	684	578
原材料及び貯蔵品	4,685	5,402
その他	2,087	2,314
貸倒引当金	△350	△403
流動資産合計	34,314	36,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,822	6,667
機械装置及び運搬具(純額)	4,716	4,494
工具、器具及び備品(純額)	652	667
土地	7,137	7,148
建設仮勘定	299	358
有形固定資産合計	19,628	19,336
無形固定資産		
のれん	—	213
その他	2,199	2,041
無形固定資産合計	2,199	2,255
投資その他の資産		
投資有価証券	2,118	1,756
長期貸付金	1,456	1,292
その他	1,348	1,354
貸倒引当金	△656	△695
投資その他の資産合計	4,267	3,708
固定資産合計	26,095	25,299
資産合計	60,409	61,954

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,036	9,083
短期借入金	8,900	11,700
1年内返済予定の長期借入金	1,179	983
未払法人税等	388	510
賞与引当金	332	426
役員賞与引当金	35	—
その他	2,491	2,587
流動負債合計	23,363	25,292
固定負債		
長期借入金	2,862	3,014
退職給付引当金	338	358
債務保証損失引当金	—	61
資産除去債務	159	159
負ののれん	218	174
その他	1,653	1,145
固定負債合計	5,232	4,913
負債合計	28,595	30,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,695	2,695
資本剰余金	2,353	2,353
利益剰余金	26,918	27,100
自己株式	△314	△310
株主資本合計	31,652	31,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	225	196
繰延ヘッジ損益	△63	△285
その他の包括利益累計額合計	161	△89
純資産合計	31,814	31,749
負債純資産合計	60,409	61,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	58,736	67,438
売上原価	52,936	60,964
売上総利益	5,799	6,474
販売費及び一般管理費		
運賃	1,149	1,224
飼料価格安定基金負担金	1,216	1,240
賞与引当金繰入額	252	262
貸倒引当金繰入額	97	126
のれん償却額	—	62
その他	2,184	2,583
販売費及び一般管理費合計	4,899	5,500
営業利益	899	973
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	35	27
保管料収入	91	42
負ののれん償却額	44	44
持分法による投資利益	—	0
貸倒引当金戻入額	—	36
その他	59	53
営業外収益合計	245	217
営業外費用		
支払利息	52	52
貸倒引当金繰入額	122	—
債務保証損失引当金繰入額	—	61
保管料原価	80	35
その他	10	12
営業外費用合計	265	161
経常利益	879	1,029
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	40	—
受取保険金	—	2
特別利益合計	40	3
特別損失		
固定資産除売却損	7	56
投資有価証券評価損	62	6
ゴルフ会員権評価損	0	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	137	—
特別損失合計	207	66
税金等調整前四半期純利益	712	966
法人税、住民税及び事業税	327	498
法人税等調整額	△56	△87
法人税等合計	270	410
少数株主損益調整前四半期純利益	441	556
四半期純利益	441	556



(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	441	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△149	△29
繰延ヘッジ損益	△242	△222
その他の包括利益合計	△392	△251
四半期包括利益	49	305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49	305
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	712	966
減価償却費	1,074	1,229
持分法による投資損益 (△は益)	—	△0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	137	—
のれん償却額	—	62
負ののれん償却額	△44	△44
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54	93
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59	△35
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7	20
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	61
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	219	90
受取利息及び受取配当金	△49	△40
支払利息	52	52
為替差損益 (△は益)	4	3
投資有価証券売却損益 (△は益)	△40	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	62	6
ゴルフ会員権評価損	0	3
固定資産除売却損益 (△は益)	7	55
売上債権の増減額 (△は増加)	951	△1,980
たな卸資産の増減額 (△は増加)	254	△695
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,101	△958
その他	△482	△900
小計	1,760	△2,009
利息及び配当金の受取額	48	40
利息の支払額	△55	△52
法人税等の支払額	△1,167	△380
営業活動によるキャッシュ・フロー	586	△2,401
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	△79	△22
貸付金の回収による収入	78	119
有価証券の取得による支出	△310	△50
有価証券の売却による収入	50	—
固定資産の取得による支出	△1,508	△750
固定資産の売却による収入	—	2
その他の支出	△13	△13
その他の収入	22	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,760	△690

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,200	2,800
長期借入れによる収入	300	600
長期借入金の返済による支出	△887	△678
自己株式の取得による支出	△0	△30
自己株式の売却による収入	—	29
配当金の支払額	△211	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,400	2,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226	△579
現金及び現金同等物の期首残高	764	1,278
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	101
現金及び現金同等物の四半期末残高	990	800

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品及び販売市場の類似性に基づいて事業部門を置き、各事業部門で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・販売市場別のセグメントから構成されており、「飼料」、「コンシューマー・プロダクツ」及び「不動産賃貸」の3つを報告セグメントとしております。

「飼料」は、畜産飼料等を製造販売しております。「コンシューマー・プロダクツ」は、消費者向けの畜産物、ペットフードを製造販売しております。「不動産賃貸」は、倉庫等の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	不動産 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	49,140	6,871	212	56,224	2,511	58,736	—	58,736
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	231	0	—	231	65	296	△296	—
計	49,371	6,871	212	56,455	2,577	59,033	△296	58,736
セグメント利益	624	191	151	967	180	1,148	△435	712

(注) 1 「その他」のセグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△531百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品及び販売市場の類似性に基づいて事業部門を置き、各事業部門で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・販売市場別のセグメントから構成されており、「飼料」、「コンシューマー・プロダクツ」及び「不動産賃貸」の3つを報告セグメントとしております。

「飼料」は、畜産飼料等を製造販売しております。「コンシューマー・プロダクツ」は、消費者向けの畜産物、ペットフードを製造販売しております。「不動産賃貸」は、倉庫等の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	不動産 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	57,550	7,038	122	64,711	2,726	67,438	—	67,438
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	287	0	—	287	10	298	△298	—
計	57,838	7,038	122	64,999	2,737	67,737	△298	67,438
セグメント利益	999	94	43	1,137	81	1,219	△252	966

(注) 1 「その他」のセグメントは、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△679百万円、金融収支463百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。